

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2017年7月7日

微気候デザイン効果の「見える化」ツール

「^{ビキ}Vikiなび」を開発

- 自然の光や風を有効活用するための設計手法「微気候デザイン」の導入効果を見える化
- 建物の仕様や設備、開口部の位置等を入力するだけで効果の見える化を実現
- 冷暖房しなくても快適に過ごせる時間を「Viki Time (ビキタイム)」として数値化
- 微気候デザイン効果を実現するための最適な手法の組み合わせも提案可能

ミサワホーム株式会社(代表取締役社長執行役員 磯貝匡志)及び株式会社ミサワホーム総合研究所(本社 東京都杉並区/代表取締役社長 内田和明)は、自然の光や風を活用して快適な室内環境を形成するための設計手法「微気候デザイン」の効果を見える化する営業ツールとして「Viki なび」を開発、今月よりお客様向けに提案を開始します。

国は2020年に標準的な新築住宅でZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の実現を目指すという政策目標を掲げており、それに伴いZEHの達成に必要な建物の断熱性能や省エネルギー機器、創エネルギー機器の性能が定量化された数値で示されています。一方、季節に応じて住宅とその周辺の気候を上手に制御することで快適な室内環境を形成するような工夫は、快適性の向上に加えて冷暖房機器の使用時間削減による省エネルギーにもつながるなど住まい手にとって重要な要素であるものの、「快適性」という定性的な性質から、定量的な評価が難しいという課題がありました。

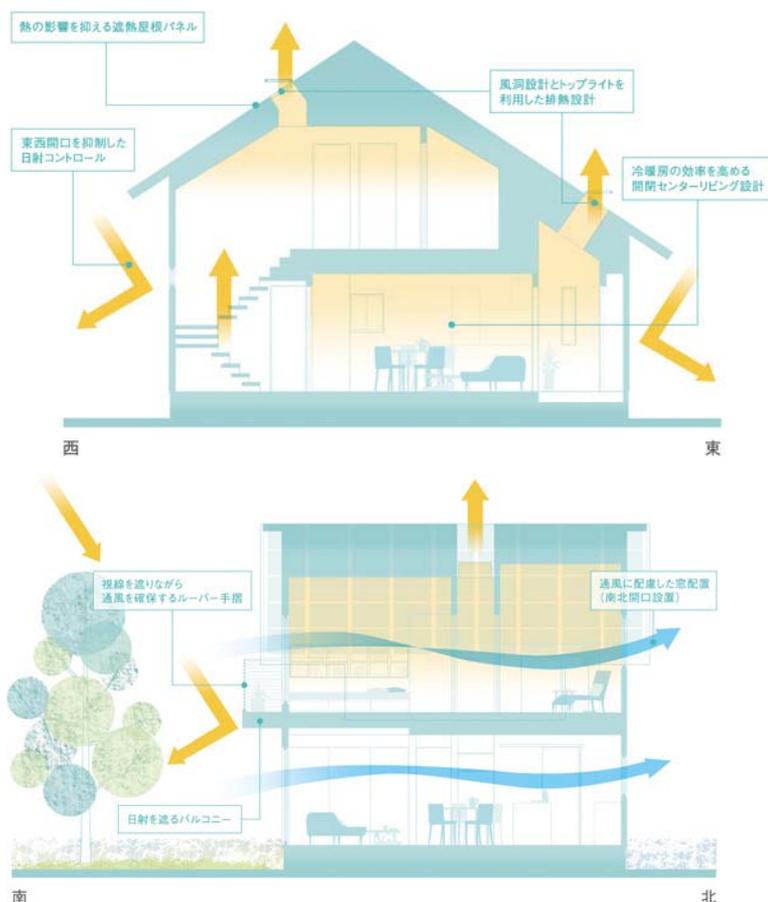
そこでミサワホームでは、微気候デザインの要素を「空気の流れをつくる」や「日射を遮る」など6項目に、それらを実現するための手法を18項目に整理したツール「Viki なび」を開発。お客様が検討する建物の仕様や設備、通風・日射採り込みの程度、開口部の位置等を入力することで、微気候デザインへの総合的な取り組みの度合いを表す「微気候グレード」や採用した手法のバランスを表す「Viki チャート」、冷暖房しなくても快適に過ごせる時間を表す指標「Viki Time」、代表的な寒い日や暑い日の室温推移イメージを表示できるようにしました。これにより、総合的な微気候デザイン効果を向上させるための最適な手法の組み合わせを検討することが可能になりました。

ミサワホームは、今後も自社建物の高い断熱性能や省エネルギー性能を訴求してZEHを推進すると同時に、微気候デザインの効果を見える化する「Viki なび」を活用してパッシブなデザイン手法を分かりやすく提案することで、より快適な住まいづくりをサポートしていく考えです。

■微気候デザインについて

「微気候」とは、住まいとその周辺に限ったミクロの気候を意味します。微気候デザインは、伝統的な生活の知恵と現代の先進技術とを融合させることで、蒸し暑い夏も寒い冬も快適に過ごせる住まいづくり・まちづくりのために開発した設計手法です。この取り組みは外部からも高く評価されており、微気候デザインを採用したミサワホームのスマートシティ「エムスマートシティ熊谷」（埼玉県熊谷市）は熊谷市の「熊谷スマートタウン整備事業」や国土交通省の「平成 25 年度第 2 回住宅・建築物省 CO₂ 先導事業」に、現在開発を進めている分譲地「オナーズヒル戸田 緑テラス」（埼玉県戸田市）は埼玉県の「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業」にそれぞれ採択されています。

■微気候デザインの手法例【夏季の日射熱を遮り、室内の熱を逃す工夫】



■「Viki なび」活用例

お客様から住まいのご要望をヒアリング

営業担当が、ご要望の仕様・設備、開口部の大きさや位置等を専用ソフトに入力

判定結果を「微気候デザイン評価シート」に出力。お客様とのコミュニケーションを図る

